

# NISSO PRONITY

2022年8月期  
決算説明資料



# 目次

## INDEX

- 1 2022年8月期決算概況
- 2 2023年8月期業績見通し
- 3 第3次中期経営計画進捗報告  
主なトピックス
- 4 配当方針
- 5 補足資料・会社概要



# 2022年8月期 決算概況

## 連結

**売上高は、前年同期比△2.1%**

**営業利益は、前年同期比△21.0%で推移**

当社グループの主力事業である金属製品の加工・販売において、その主要原材料である鋼材価格の上昇、原材料の調達難等により、業績へ直接的な影響を与えました。

また、各種副資材やエネルギー価格等も上昇基調にあり、利益圧迫の一因となりました。

---

<b>売上高</b>	<b>73億74百万円</b>
------------	-----------------

<b>営業利益</b>	<b>3億58百万円</b>
-------------	----------------

<b>EBITDA</b>	<b>7億20百万円</b>
---------------	----------------

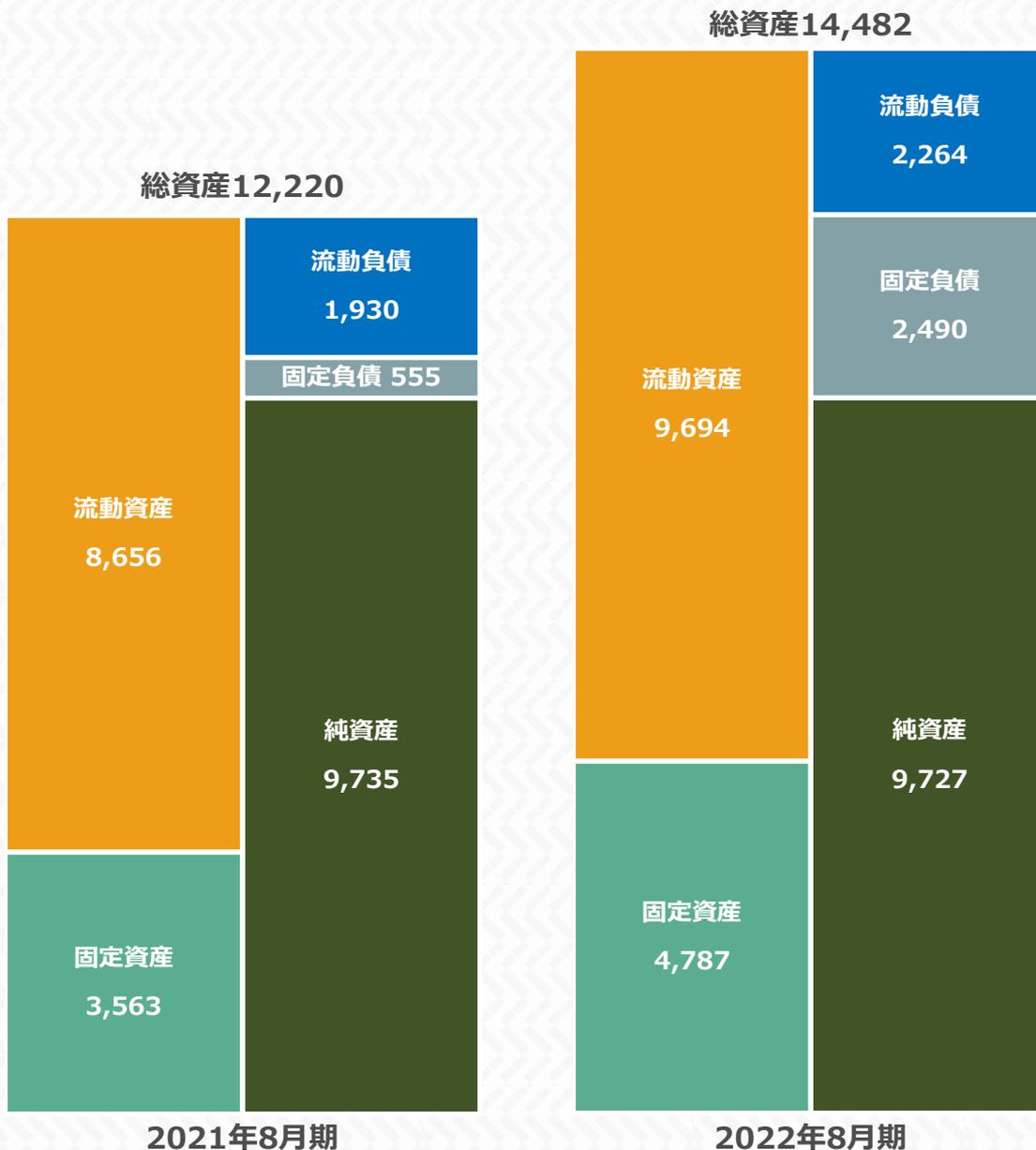
# 2022年8月期業績ハイライト (連結・損益計算書)

(単位：百万円)

	2021.08期	2022.08期					
		計画	実績	前年同期比		計画比	
売上高	7,534	7,220	7,374	△ 159	△2.1%	154	+2.1%
営業利益	453	256	358	△ 95	△21.0%	102	+39.8%
(営業利益率)	(6.0%)	(3.5%)	(4.9%)	—	(△1.1P)	—	(+1.4P)
経常利益	528	258	396	△ 131	△24.9%	138	+53.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	427	137	154	△ 272	△63.8%	17	+12.4%
EBITDA (営業利益 + 減価償却費)	805	610	720	△ 85	△10.6%	110	+18.0%
受注残	1,601	—	4,147	2,546	+159.0%	—	—

# 2022年8月期業績ハイライト (連結・貸借対照表)

(単位：百万円)



## 主な増減要因

### 流動資産

前期末比+1,037

- ・現金及び預金△554
- ・受取手形、売掛金、契約資産1,111
- ・原材料及び貯蔵品100
- ・流動資産その他217

### 固定資産

前期末比+1,223

- 福島工場の設備投資により、
- ・建物及び構築物（純額）712
  - ・機械装置及び運搬具（純額）199
- 連結子会社の増加により、
- ・のれん226

### 流動負債

前期末比+334

- 連結子会社の増加により、
- ・工事未払金220
  - ・1年内返済予定の長期借入金313
  - ・流動負債その他△300

### 固定負債

前期末比+1,934

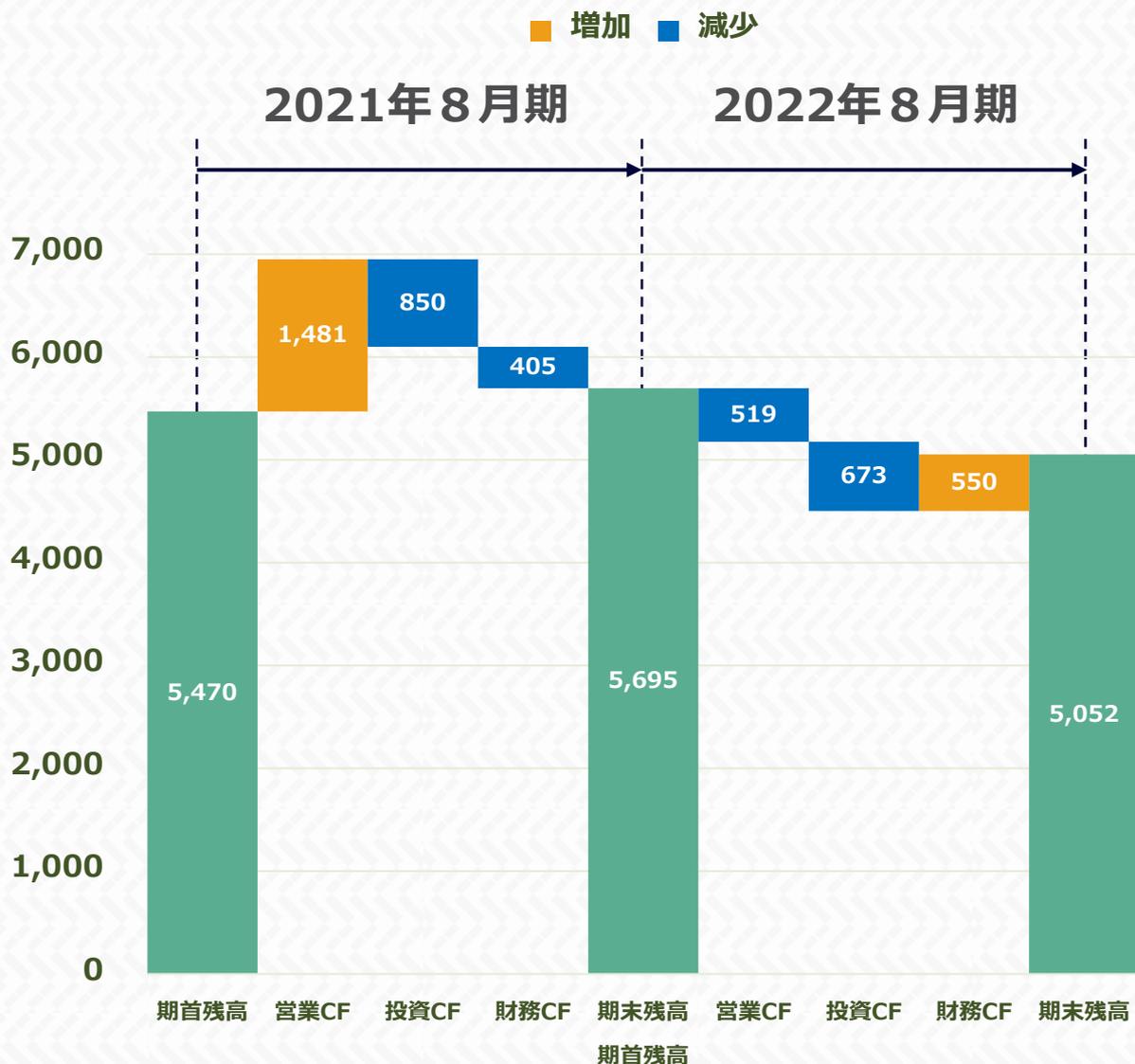
- 福島工場の設備投資・連結子会社増加により、
- ・長期借入金1,726
  - ・固定資産その他129

### 純資産

前期末比△7

# 2022年8月期業績ハイライト (連結・キャッシュフロー計算書)

単位：百万円



## 営業キャッシュフロー △519

税金等調整前当期純利益367  
 減価償却費362 仕入債務の増加166  
 売上債権の増加△650  
 棚卸資産の増加△195  
 未払消費税等の減少△192  
 その他の流動負債の減少△299  
 法人税等の支払額△189

## 投資キャッシュフロー △673

定期預金の純減額380  
 連結の範囲の変更を伴う  
 子会社株式の取得による収入246  
 有形固定資産の取得による支出△1,250

## 財務キャッシュフロー +550

長期借入れによる収入2,350  
 短期借入金の純減額△437  
 長期借入金の返済による支出△926  
 社債の償還による支出△260  
 配当金の支払額△160

# 2022年8月期業績ハイライト (セグメント)

## 金属加工事業

**売上高4,418百万円（前年同期比16.5%減）**

太陽電池アレイ支持架台の大型案件の減少、耐火パネルの販売が伸長しなかったこと、原材料の調達難、鋼材価格の上昇等の影響を受け、売上高は4,418百万円（前年同期比16.5%減）、当連結会計年度末における受注残高は1,228百万円（同8.1%減）

## ゴム加工事業

**売上高1,116百万円（前年同期比2.2%増）**

既存取引先との関係強化に積極的に取り組んだことで、建設関連、建機関連、土木関連、電力関連、自動車関連等の各種業界向けの製品が堅調に推移し、売上高は1,116百万円（前年同期比2.2%増）、当連結会計年度末における受注残高は119百万円（同17.0%増）

## 建設事業

**売上高1,839百万円（前年同期比60.1%増）**

グループ間の情報連携を図り、太陽電池アレイ支持架台の大型案件は減少したものの、電気工事や内装工事を中心に営業活動に取り組んだことや、M & Aによりグループ化した株式会社壹会の業績寄与により、売上高は1,839百万円（前年同期比60.1%増）、当連結会計年度末における受注残高は2,800百万円（前年同期は163百万円）

# 2022年8月期業績ハイライト (連結・セグメント)

(単位：百万円)

	2021.08期		2022.08期		前年同期比	
売上高	7,534	(構成比)	7,374	(構成比)	△ 159	△2.1%
金属加工事業	5,293	70.3%	4,418	59.9%	△ 874	△16.5%
ゴム加工事業	1,092	14.5%	1,116	15.1%	+ 23	+2.2%
建設事業	1,148	15.2%	1,839	24.9%	+ 690	+60.1%
セグメント利益	751	(構成比)	666	(構成比)	△ 85	△11.4%
金属加工事業	499	66.4%	256	38.4%	△ 242	△48.6%
ゴム加工事業	217	28.9%	259	38.9%	+ 41	+19.2%
建設事業	34	4.5%	150	22.5%	+ 115	+331.2%
調整額	△ 298	—	△ 307	—	△ 9	—
営業利益	453		358		△ 95	△21.0%

※セグメント利益の合計額と営業利益との差異は主として各報告セグメントに配分していない全社費用

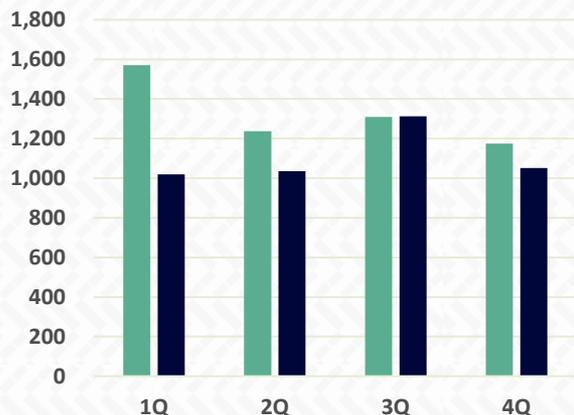
# セグメント（四半期）推移

	1Q		2Q		3Q		4Q		通期	
	2021.08期	2022.08期								
売上高	2,214	1,435	1,730	1,525	1,824	2,219	1,764	2,194	7,534	7,374
通期中の構成比	29.4%	19.5%	23.0%	20.7%	24.2%	30.1%	23.4%	29.8%	100.0%	100.0%
金属加工事業	1,571	1,019	1,237	1,035	1,309	1,313	1,174	1,051	5,293	4,418
ゴム加工事業	259	285	293	293	277	276	261	261	1,092	1,116
建設事業	383	131	199	196	237	629	328	881	1,148	1,839
セグメント利益	247	127	147	168	205	249	151	120	751	666
通期中の構成比	32.9%	19.1%	19.6%	25.3%	27.3%	37.5%	20.1%	18.1%	100.0%	100.0%
金属加工事業	173	56	83	95	138	123	103	-18	499	256
ゴム加工事業	35	67	64	70	61	62	56	59	217	259
建設事業	37	3	0	2	5	64	-8	80	34	150
調整額	△ 82	△ 72	△ 72	△ 107	△ 71	△ 59	△ 72	△ 68	△ 298	△ 307
営業利益	164	55	75	60	134	190	79	52	453	358
営業利益率	7.4%	3.9%	4.4%	4.0%	7.4%	8.6%	4.5%	2.4%	6.0%	4.9%

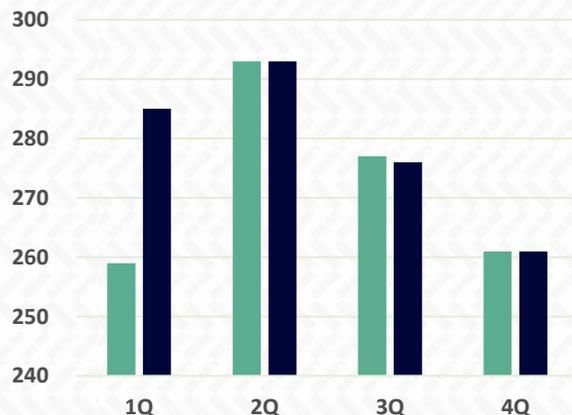
# セグメント（四半期）推移

単位：百万円

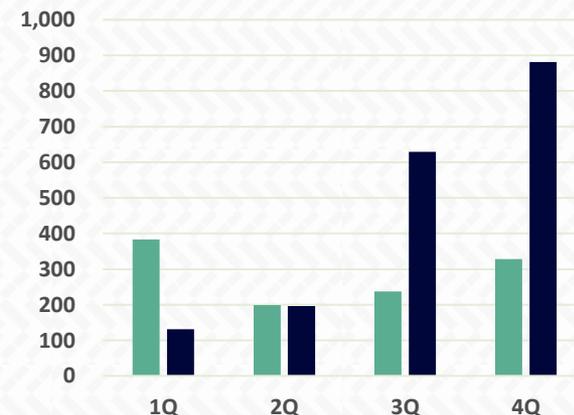
## 金属加工事業（売上高）



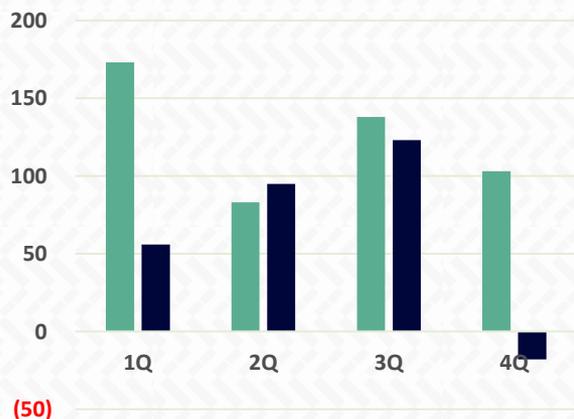
## ゴム加工事業（売上高）



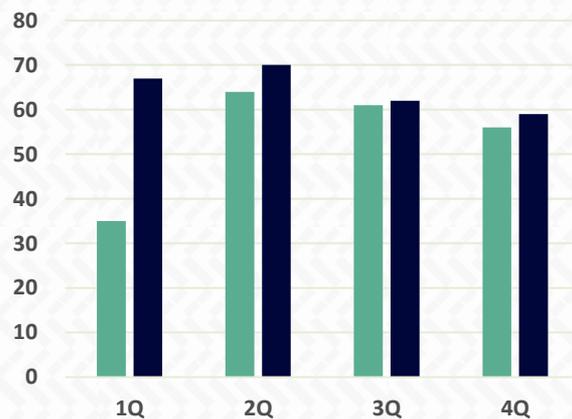
## 建設事業（売上高）



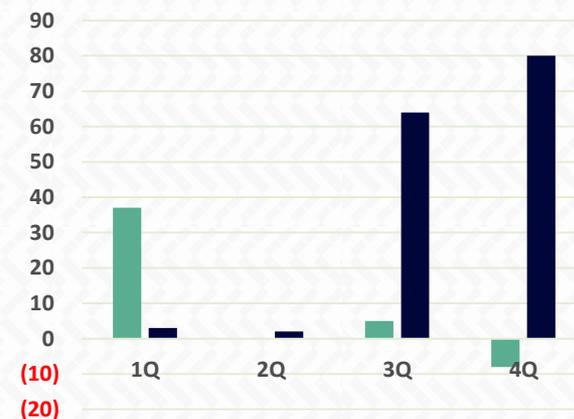
## 金属加工事業（セグメント利益）



## ゴム加工事業（セグメント利益）



## 建設事業（セグメント利益）



■ 2021年8月期 ■ 2022年8月期

The background is a dark green color. There are two large, thick, gold-colored arcs that curve across the page. One arc starts from the top left and curves towards the center. The other arc starts from the bottom left and curves towards the right. The text is centered in the upper right area.

# 2023年8月期 業績見通し

# 2023年8月期業績見通し（連結）

（単位：百万円）

	2022.08期	2023.08期		
		計画	前年同期比	
売上高	7,374	9,300	+ 1,925	+26.1%
金属加工事業	4,418	5,486	+ 1,067	+24.2%
ゴム加工事業	1,116	1,154	+ 37	+3.3%
建設事業	1,839	2,660	+ 820	+44.6%
営業利益	358	580	+ 221	+61.7%
（営業利益率）	（4.9%）	（6.2%）	－	（+1.3P）
経常利益	396	580	+ 183	+46.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	154	394	+ 239	+154.8%
EBITDA （営業利益＋減価償却費）	720	1,086	+ 365	+50.6%

## 2023年8月期 業績見通し

**売上高9,300百万円**（前年同期比26.1%増）  
**営業利益580百万円**（同61.7%増）

- 金属加工事業において、固定価格買取制度（FIT案件）の太陽電池アレイ支持架台の需要が弱まり、自家消費を主眼に置いた再生可能エネルギー案件に関する需要が増加していくと見込む。
- 金属サンドイッチパネルやその他の金属パネルについても堅調に推移すると予想。
- 建設事業において、株式会社壹会の業績が通期にわたって寄与することから、通期の連結業績見通しは、売上高9,300百万円（前年同期比26.1%増）を見込み、営業利益580百万円（同61.7%増）、経常利益580百万円（同46.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益394百万円（同154.8%増）を予想しております。

The background is a dark green color. There are two large, thick, gold-colored arcs that curve across the page. One arc starts from the top left and curves towards the center. The other arc starts from the bottom left and curves towards the right. The text is centered in the upper right area.

# 第3次中期経営計画 進捗報告

# 当社グループが目指す将来展望

・当社は事業のコアとして「加工」を位置付けており、グループ経営理念「日々創造」、グループミッション「価値の創造」の下、事業領域の拡大を目指すべく、グループビジョンとして「加工の総合商社」を掲げております。

※当社では、「加工」とは「素材に付加価値を付けること」と定義しております。



# 第3次中期経営計画について

## 第3次中期経営計画テーマ

# “Challenge”

## 中期経営戦略（基本戦略）

### 成長への投資

- ・ 成長を加速させるため、資金を、**M&A、設備、人材、新規事業**へ重点的に投資

### 持続的成長に向けた 経営基盤づくり

- ・ グループリスク管理の強化
- ・ コーポレートガバナンスコードへの対応
- ・ コンプライアンス経営の強化
- ・ 業務改善の推進
- ・ 製造原価削減の推進

## サステナビリティの基本方針

加工を通じてあらゆるニーズにお応えすることで、  
社会的価値と経済的価値を満たしていく

# 第3次中期経営計画（定量的目標）

## 金属加工事業

売上高  
52.9億円 → **87.5億円**  
(+34.6億円)

## ゴム加工事業

売上高  
10.9億円 → **12.5億円**  
(+1.6億円)

## 建設事業

売上高  
11.4億円 → **20億円**  
(+8.6億円)

## M&A

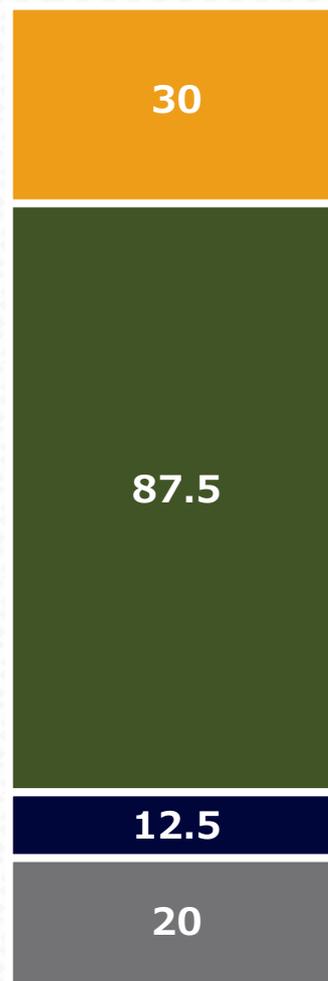
売上高  
**30億円**  
(+30億円)

- 金属加工事業
- ゴム加工事業
- 建設事業
- M&A



2021年8月期  
実績（連結）

**150億円**



2024年8月期  
目標（連結）

**2024年8月期  
目標（連結）**

売上高  
**150億円**

EBITDA  
**15億円**

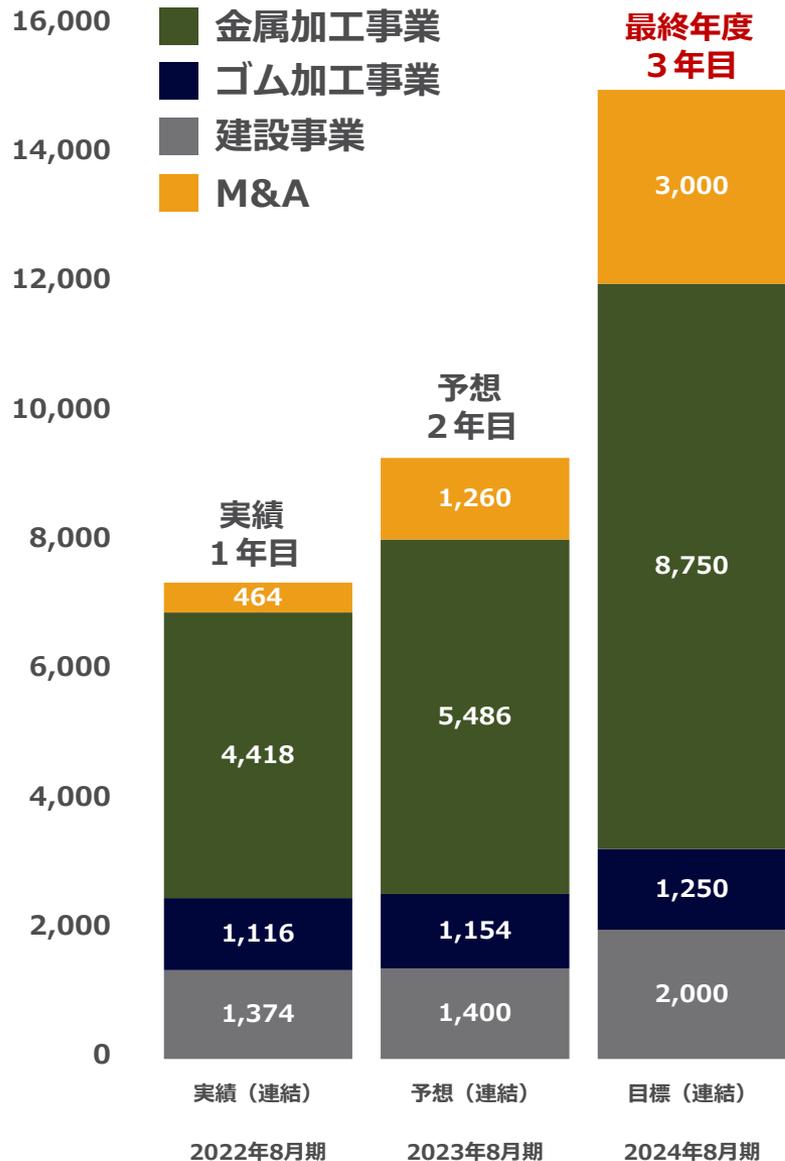
※EBITDA  
= 営業利益 + 減価償却費

**3か年の投資枠  
目標金額**

**50億円**

# 第3次中期経営計画 (定量的目標に対する進捗状況)

単位：百万円



The background is a dark green color. There are two large, thick, gold-colored arcs. One arc is on the left side, curving from the top towards the bottom. The other arc is on the right side, curving from the bottom towards the top. The text 'トピックス' is centered in the middle of the page.

# トピックス

# 設備投資（福島第2工場の竣工）

2022年2月  
竣工



## 設備投資の主な内容

- ・新工場棟の新設
- ・耐火パネル生産ライン増設
- ・不燃断熱パネル生産ライン新設
- ・パネルNCルーター加工機



現在福島第1工場稼働中の耐火パネル生産ライン



福島第2工場稼働中の  
パネルNCルーター加工機

## 福島工場に係る加工設備稼働予定の状況について

稼働予定を2022年9月としておりましたが、6～7月にかけて搬入が完了し、試運転をした際、設備制御プログラム等の不具合が発生し、その解消に一定期間の日数を要することから、稼働予定は未定としております。（判明次第改めてお知らせいたします。）

# 設備投資計画（形鋼加工への進出）

既存加工分野（一例）

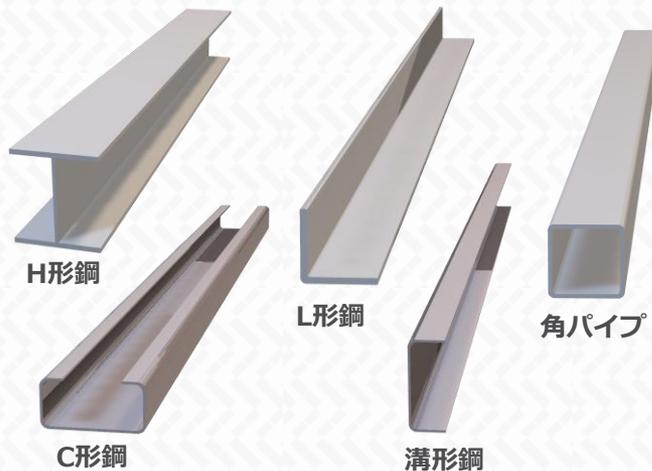


素材：コイル鋼材（薄板）

板金加工



新しい加工分野



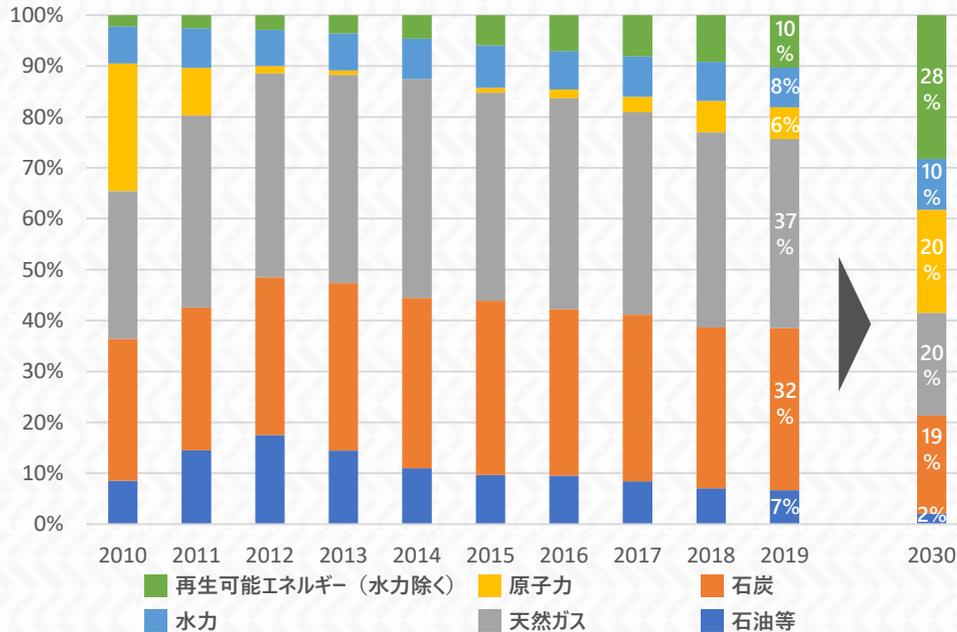
素材：形鋼

形鋼加工



# 再生可能エネルギー ソリューション事業への挑戦

資源エネルギー庁「エネルギー基本計画」（2021年10月22日公表）によれば、2030年度電源構成のうち再エネ比率36～38%（内太陽光15%程度）と計画。2015年7月に公表された「長期エネルギー需給見通し」での目標値の再エネ比率22～24%（内太陽光7%程度）よりも上昇。



## 政府の再エネ比率目標



トレンドとして、大企業を中心に、RE100 (※)への参加等、再エネへの関心が高まっている

**RE 100**

※事業を100%再エネ電力で賄うことを目標とする企業連合のこと

出典：資源エネルギー庁資料「総合エネルギー統計」、「エネルギー基本計画」（2021年10月22日公表）より当社作成

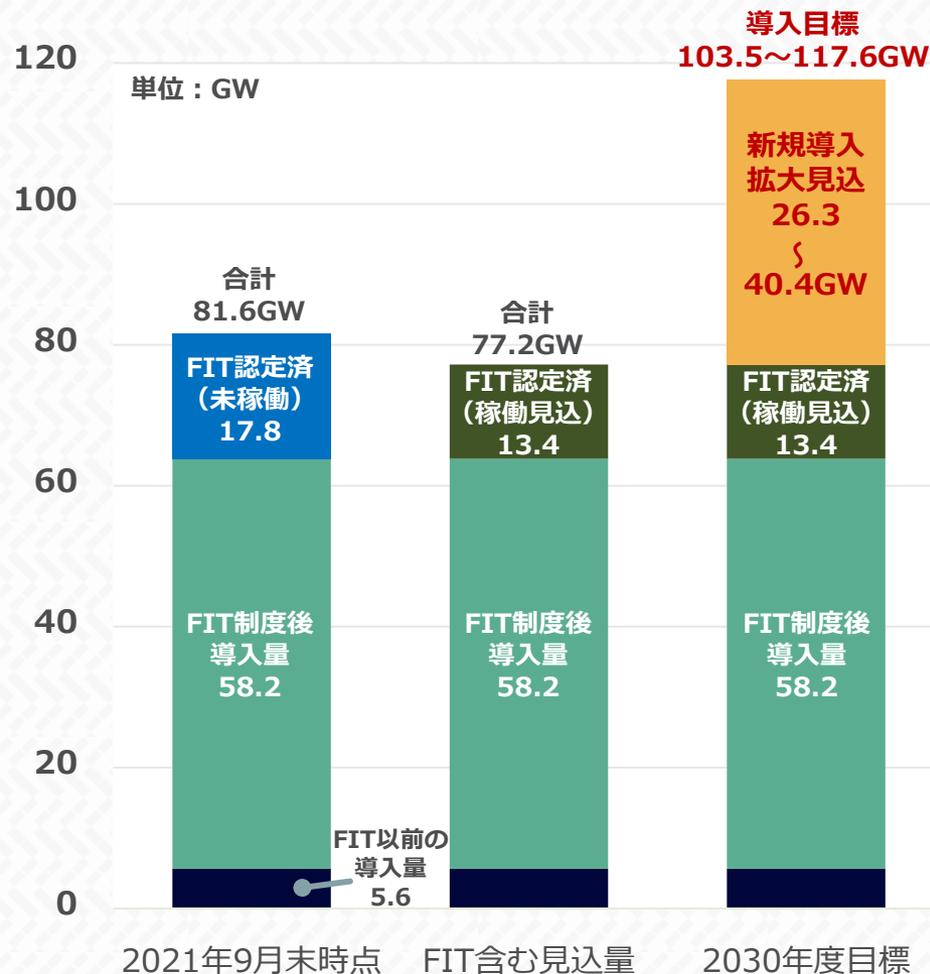
## 再生可能エネルギーシステムのソリューション事業に注力

カーボンニュートラルを掲げる企業や地方自治体へ、従来の太陽光関連製品の提供に留まらず、**自家消費型**の再生可能エネルギーシステムのソリューション事業に取り組みます。

# 再生可能エネルギー ソリューション事業への挑戦

政府が、エネルギー基本計画に基づいた2030年再エネ導入目標達成を目指し、**約27~41GW**の太陽光発電設備導入目標を公表しており、自家消費型の太陽光発電を中心に今後政策的に増強されると推測。

太陽光発電のFIT認定量・導入量・2030年度目標



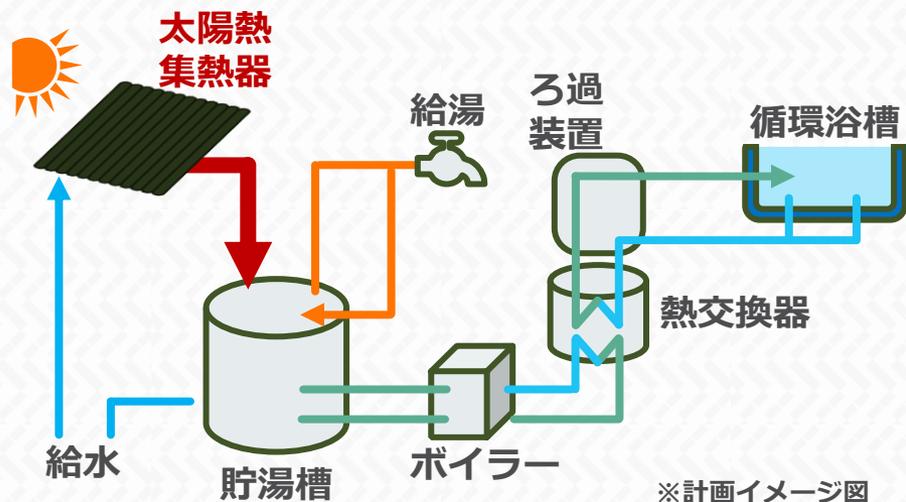
担当官庁	エネルギー基本計画で掲げられた施策	導入見込み量GW
<b>政策強化</b>		
環境省	公共部門の率先実行	6.0
環境省	地域共生型太陽光発電の導入	4.1
国交省	空港の再エネ拠点化	2.3
<b>野心的水準</b>		
環境省	民間企業による自家消費促進	10.0
経産省/国交省/環境省	新築住宅への施策強化	3.5
環境省/農水省	地域共生型再エネの導入推進	4.1

出典：資源エネルギー庁「今後の再生可能エネルギー政策について」

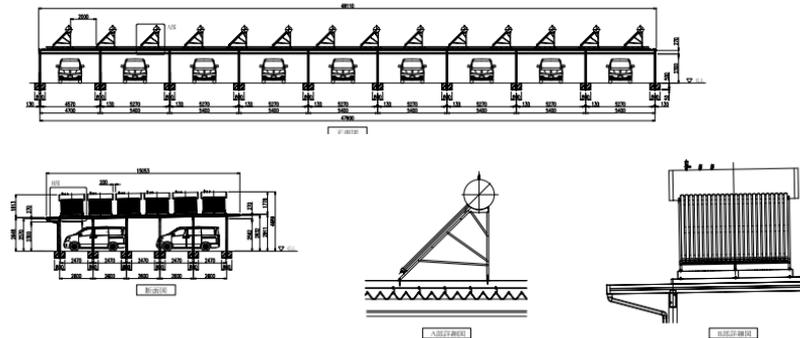
(2022年4月7日) より当社作成

# 再生可能エネルギー ソリューション事業 事例

## 事例 1 : 福岡県八女市



## カーポート型架台 太陽熱集熱器84台設置予定



令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(PPA活用など再エネ価格低減等を通じた地域の再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業)の再生可能エネルギー価格低減促進事業に、当社と福岡県八女市による事業が採択されました。

【Before】A重油ボイラー熱を用いて、温浴施設へ温水を給湯していた

【After】当社のカーポート型架台に、太陽熱集熱器84台を設置、太陽熱温水供給を実施する計画を策定

→ボイラーのみの利用時に比べ、CO2削減に寄与、燃料費削減も実現できる

**年間約130~170万円程度の燃料費削減効果（推定）、灯油換算で約19,394ℓ相当のCO2削減効果！**

## 事例 2 : 福島県石川町

生産拠点のある福島県石川町との間で「再生可能エネルギーを活用した持続可能な町づくりの推進に関する連携協定書」を締結。

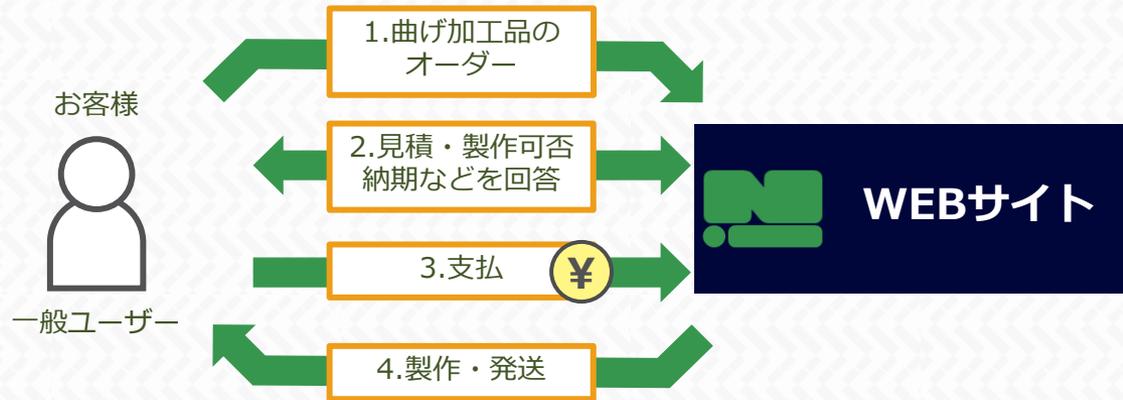
再生可能エネルギーを活用し、相互に有するノウハウやネットワークを活かしながら、地域の活性化に向けた取り組みを推進



# 「加工のプラットフォーム」への挑戦（中長期的な構想）

当社がグループビジョンとして掲げる「加工の総合商社」を具現化し、グループシナジーを最大化するために、「加工のプラットフォーム」実現を目指す。第一弾として、WEBを活用した受注獲得について、WEBサイトを立ち上げ、2022年5月より運用開始。

現在運用中のもの



・金属加工を中心に、一般ユーザーマーケットに向けて、WEBでオーダー製品の受注を獲得  
【背景】一般ユーザーが金属加工のオーダーを依頼できる先がない

将来構想



・上記に加え、アイデアを持つクリエイターやデザイナーが製品化をできる機能を追加する中長期構想へ



# 当社の配当方針

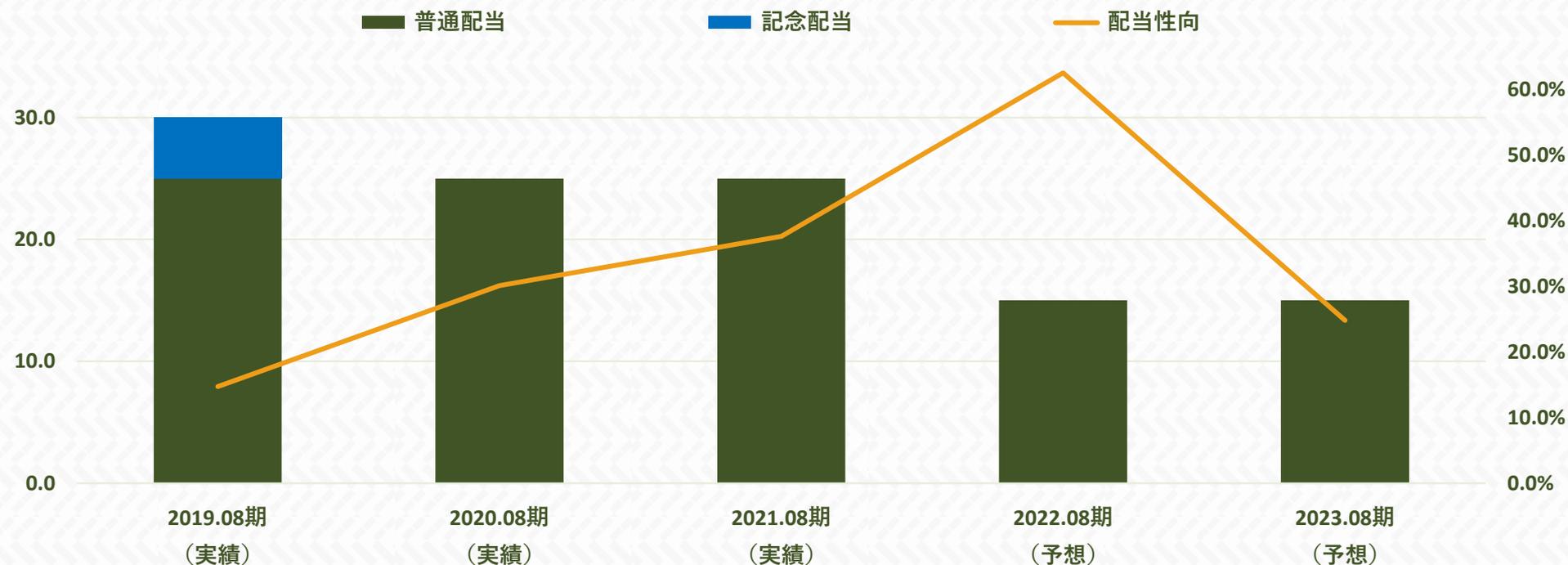
# 配当方針

(円、銭)

## 配当に対する基本的な考え方

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、今後の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行う。

	2019.08期 (実績)	2020.08期 (実績)	2021.08期 (実績)	2022.08期 (予想)	2023.08期 (予想)
記念配当	5.0	—	—	—	—
普通配当	25.0	25.0	25.0	15.0	15.0
計	30.0	25.0	25.0	15.0	15.0
配当性向	14.7%	30.1%	37.6%	62.5%	24.6%





# 補足資料 会社概要

# 会社概要・沿革

商号	日創プロニティ株式会社 (英文表記：NISSO PRONITY Co., Ltd.)
本社	〒815-0035福岡県福岡市南区向野2-10-25
事業内容	金属加工事業、ゴム加工事業、建設事業
営業拠点	本社、東京営業所、福島営業所
製造拠点	山田工場（福岡県嘉麻市） 福島工場（福島県石川郡）
関連会社	吾孺ゴム工業株式会社（群馬県） 日創エンジニアリング株式会社（東京都） 綾目精機株式会社（広島県） 株式会社ダイリツ（愛知県） 株式会社壹会（東京都）
代表者	代表取締役社長 石田 徹
設立	1983年9月
資本金	1,176百万円
市場区分	東京証券取引所スタンダード市場、福岡証券取引所
発行済株式数	7,360,000株
決算日	8月31日



1983年	9月	日創工業有限会社を設立 福岡県山田市（現福岡県嘉麻市）に山田工場を開設
1997年	9月	日創工業株式会社に組織変更 福岡県山田市（現福岡県嘉麻市）上山田へ山田工場を移転
2000年	12月	ISO9001認証取得
2007年	4月	日創プロニティ株式会社に商号変更
	8月	福岡証券取引所Q-Board市場に株式を上場
2011年	2月	東京営業所を開設
2014年	3月	福島工場を開設
	6月	福島営業所を開設
2016年	3月	吾孺ゴム工業株式会社と経営統合
	4月	日創エンジニアリング株式会社を設立
2017年	4月	綾目精機株式会社と経営統合
2018年	3月	株式会社ダイリツと経営統合
2019年	7月	東京証券取引所市場第二部へ上場 福岡証券取引所本則市場へ市場変更
2020年	1月	福岡市南区より同区内に本店所在地を移転
2022年	2月	株式会社壹会と経営統合
2022年	4月	市場再編に伴い、東京証券取引所スタンダード市場へ移行

加工  
Processing

無限大  
Infinity

前進  
Progress



プロニティ  
PRONITY

加工の無限大の可能性を追求し続ける

## グループ経営理念 日々創造

当社の創業の精神であり社名の由来でもある「日々創造」は、日創グループに所属する私たちの精神的支柱であり、また日々の業務の現実的な指針です。私たちは、短期的な課題に対しても、長期的な課題に対しても「日々創造」する企業集団であり続けます。

### 経営理念のもと

## グループミッション 価値の創造

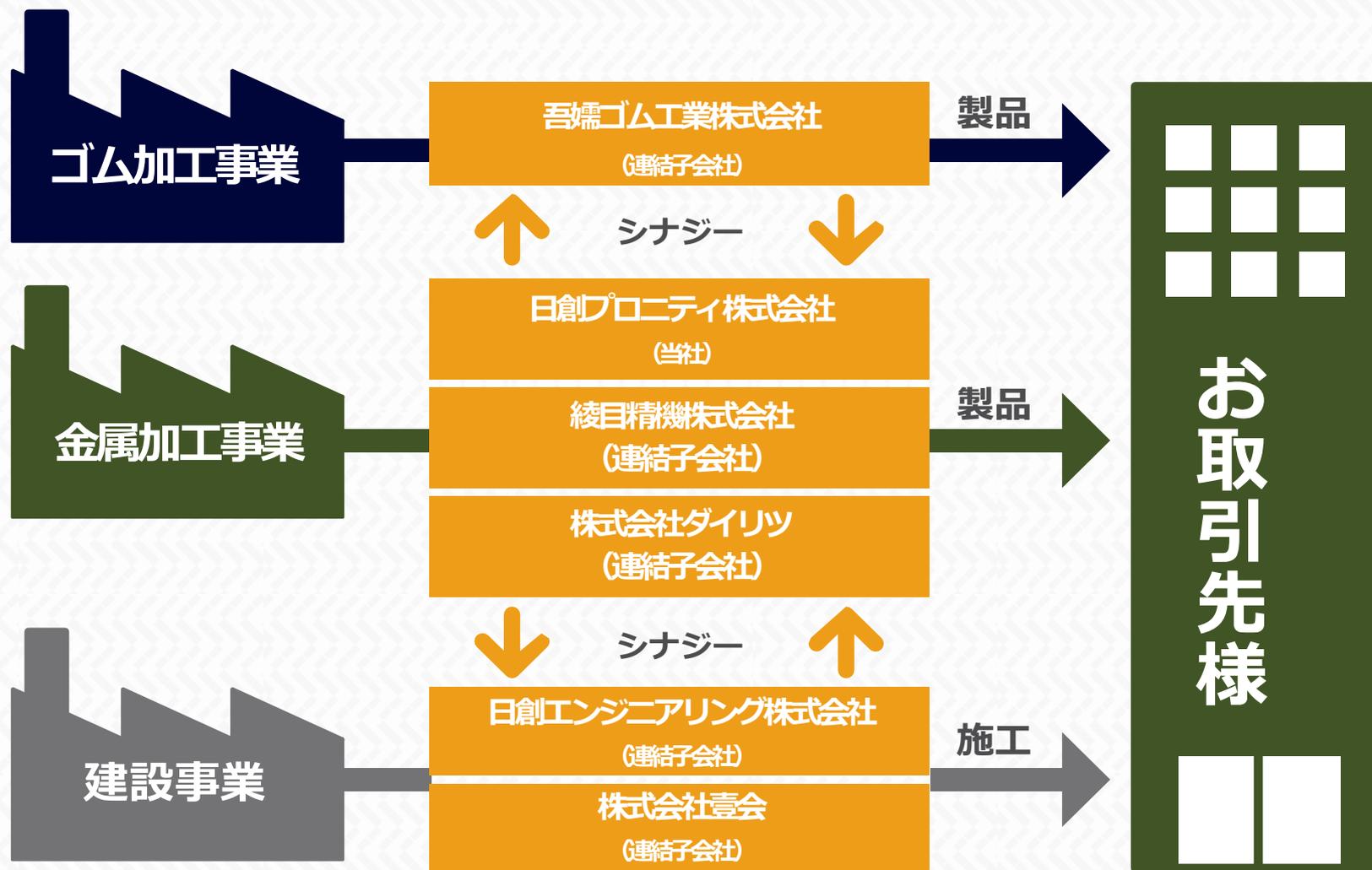
私たちは、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大し(事業の多角化)、**新たな価値を創造**していくことを通じて、社会に貢献してまいります。

## グループビジョン 加工の総合商社

「加工の総合商社」が私たちの進むべき方向であり、常に追い求める企業グループ像です。私たちは、グループビジョンに向かって、**エンドレスに挑戦**を続けます。

※加工の総合商社：  
加工を通じてお客様のあらゆるニーズに応える企業グループ

# 事業セグメント



加工を通じてお客様のあらゆるニーズに応える企業グループ

# 主な事業領域（日創プロニティ）

## ■ 各種金属加工製品（オーダー加工品）



太陽電池アレイ支持架台



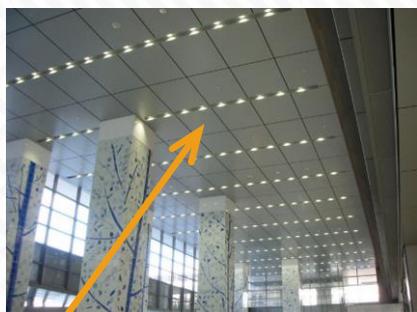
太陽光発電搭載型カーポート



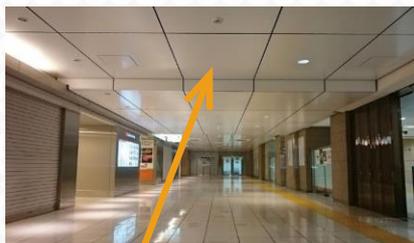
金属サンドイッチパネル  
(耐火パネル)



アートパネル:外部天井パネル  
(JR博多駅)



天井パネル:内装化粧パネル  
(JR博多駅)



天井パネル  
(JR東京駅キッチンストリート)



外壁パネル  
(アルファロメオ店舗)



デザインシェードウォール  
(ポリスミュージアム:東京銀座)

## ■ 各種金属加工製品（企画品）



金属屋根材



金属壁材

➤ 以下広範囲な業界に向けて、各種金属加工製品を提供

- ・ 建築、建材
- ・ 環境、エネルギー
- ・ 工場、プラント
- ・ 駐車場
- ・ 仮設、プレハブ
- ・ 半導体
- ・ 農業、畜産
- ・ 車輛部品

ほか

# 主な製品①太陽電池アレイ支持架台



地上設置タイプ



営農タイプ



カーポートタイプ

## メガソーラー受注実績

(2022年8月現在)

302件/1,800MW

一般家庭の年間電力消費量  
約54万世帯分※に相当!

再エネ社会へ  
大きく貢献!

※世帯年間電力消費量4,322kWh、  
太陽光発電設備利用率15%として当社試算  
NISSO PRONITY Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 主な製品② 金属サンドイッチパネル (耐火パネル・不燃断熱パネル)

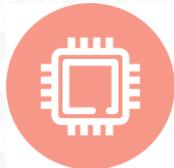
## 主な利用シーン



薬品  
工場



食品  
工場



半導体  
工場



物流  
倉庫



天井パネル

例) クリーンルームでの利用シーン  
必要部材一式から施工までトータルで  
ご提供できる体制を整えております

不燃断熱  
パネル

耐火パネル

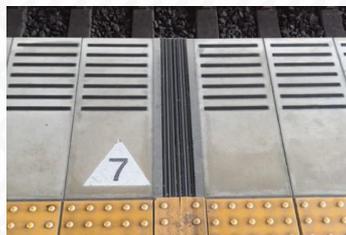
# 主な事業領域（グループ会社）

## 吾孺ゴム工業株式会社（2016年グループ化）



AZラバージョイント

下水道マンホール継ぎ手部分を  
ゴム化した耐震部品



エキスパンションシール  
地震や温度伸縮などによる  
変形から建築物を守るため  
の接合部材

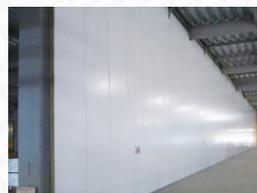
- 原料ゴムからの一貫生産を行う**ゴムメーカー**として、土木製品、一般工業製品、建築製品、車両用品、道路用品を製造。

## 日創エンジニアリング株式会社

（2016年設立）



太陽電池アレイ支持架台設置工事



耐火/不燃断熱パネル設置工事



- 日創プロニティが「太陽電池アレイ支持架台」や「金属パネル」を供給し、日創エンジニアリングが**設置工事**を行うことで「材工一括受注」体制を構築。

## 綾目精機株式会社（2017年グループ化）



- 金属の**切削加工**を中心に、印刷機、農業用機械、車輛、工作機械等の部品など、幅広い分野の多様な受注に対応。

## 株式会社ダイリツ

（2018年グループ化）



風量調節ダンパー

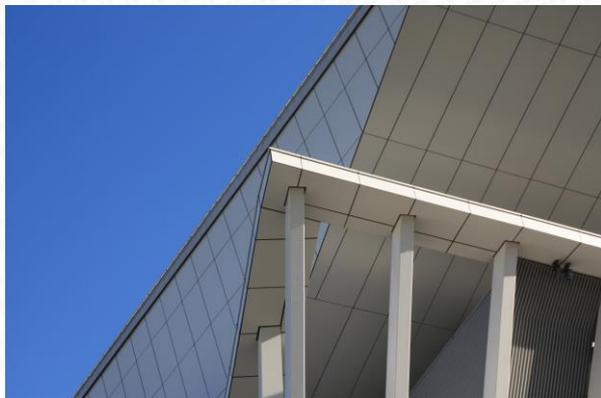


大型ダンパー

- 空調設備の風量調節装置、防火防災装置として用いられる、**空調用ダンパー**を製造。
- 各種プラント・発電所・トンネル等、様々な用途に対応するオーダーメイドの特殊製品の製造に注力。

# 2022年2月新しく壹会をグループ化しました

## 株式会社壹会



東京アクアティクスセンター4F頂部庇

- 壹会は、各種建築物の内外装材として用いられる**金属パネル**、**ルーバー**などの**設計・施工**を主業とする建築金物・金属製建具工事業者
- 設計施工能力や品質管理能力に強みを有する



東京国際空港羽田国際線地区ターミナルビル 大屋根軒天パネル

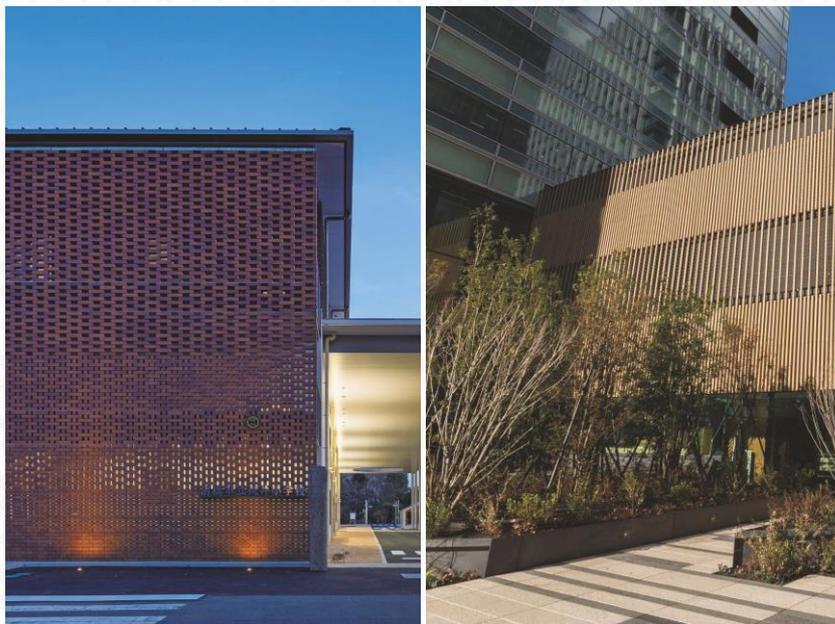


神田錦町 ビルエレベータホール壁パネル

想定する  
シナジー

現在、日創グループが展開している金属製内外装パネルなどの製品分野とリンクする設計・施工分野であり、提案力向上を見込んでおります。今後は、日創グループで取組強化している金属サンドイッチパネルの設計・施工への関与も合わせて期待しております。

## ニッタイ工業株式会社 エヌ・トレーディング株式会社



- ニッタイ工業株式会社は、タイルの製造・販売及び卸売を行う国内有数の老舗企業
- エヌ・トレーディング株式会社は、主にニッタイ工業株式会社向けにタイルの輸入販売を行う

当社グループと営業協力を進めることで、これまで以上に幅広い市場対応が可能となり、事業基盤の強化を図る。

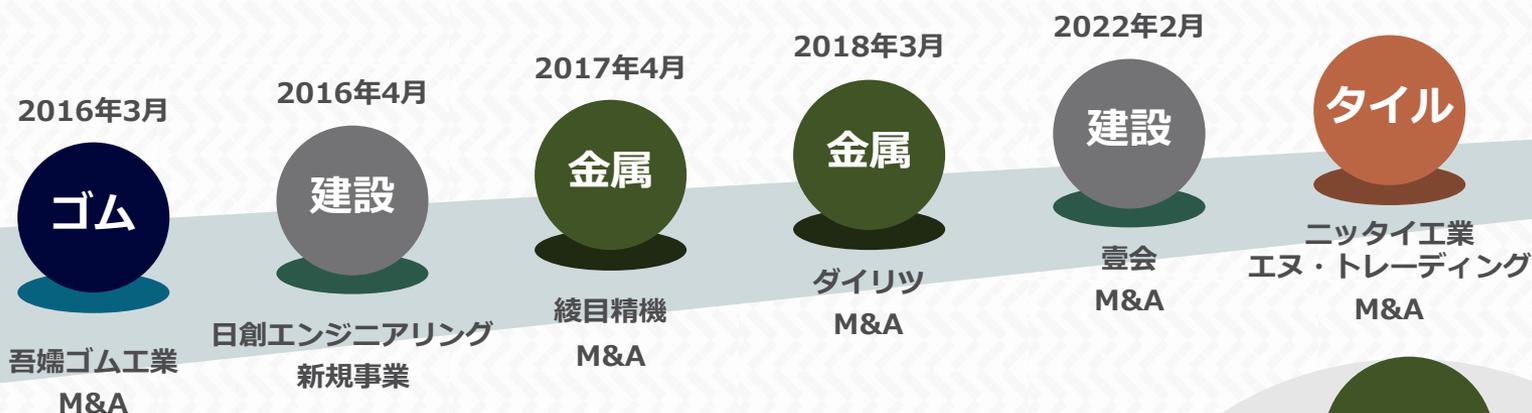
タイルと金属という**素材の垣根を越えて、同じ「建材」というカテゴリ**において、顧客への提案力向上が相互に可能であり、グループ連携により、付加価値を向上させる。



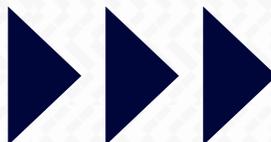
出典：ニッタイ工業会社製品カタログより

# M&Aの推進方針

## 事業領域の拡大



M&Aによる  
事業領域の拡大



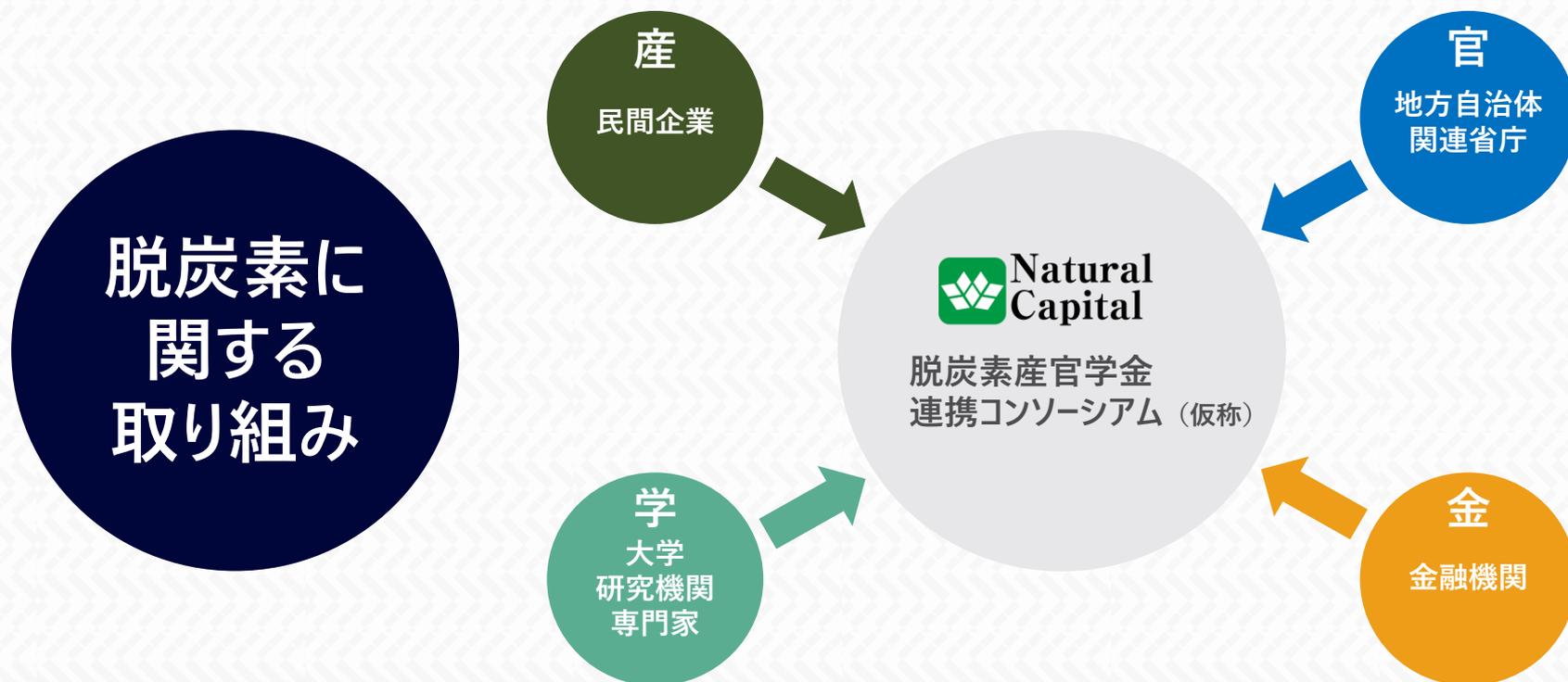
あらゆる素材加工と  
その周辺事業へ投資



# 一般社団法人Natural Capitalの設立

- ・九州大学都市研究センターの馬奈木俊介教授を代表理事にお迎えし、一般社団法人Natural Capitalを設立しました。
- ・Natural Capitalは、脱炭素に関する取り組みについて、**産官学金のネットワーク**を通じて、議論するコンソーシアムを発足する予定です。
- ・日創グループは**ESG活動**の一環として、Natural Capitalの活動を、事業パートナーの一員として支援してまいります。

代表理事:馬奈木 俊介氏  
九州大学主幹教授  
九州大学都市研究センター長  
国連SDGs「新国富報告書」代表



# 事業環境：電化による電力市場の拡大（再エネ市場）

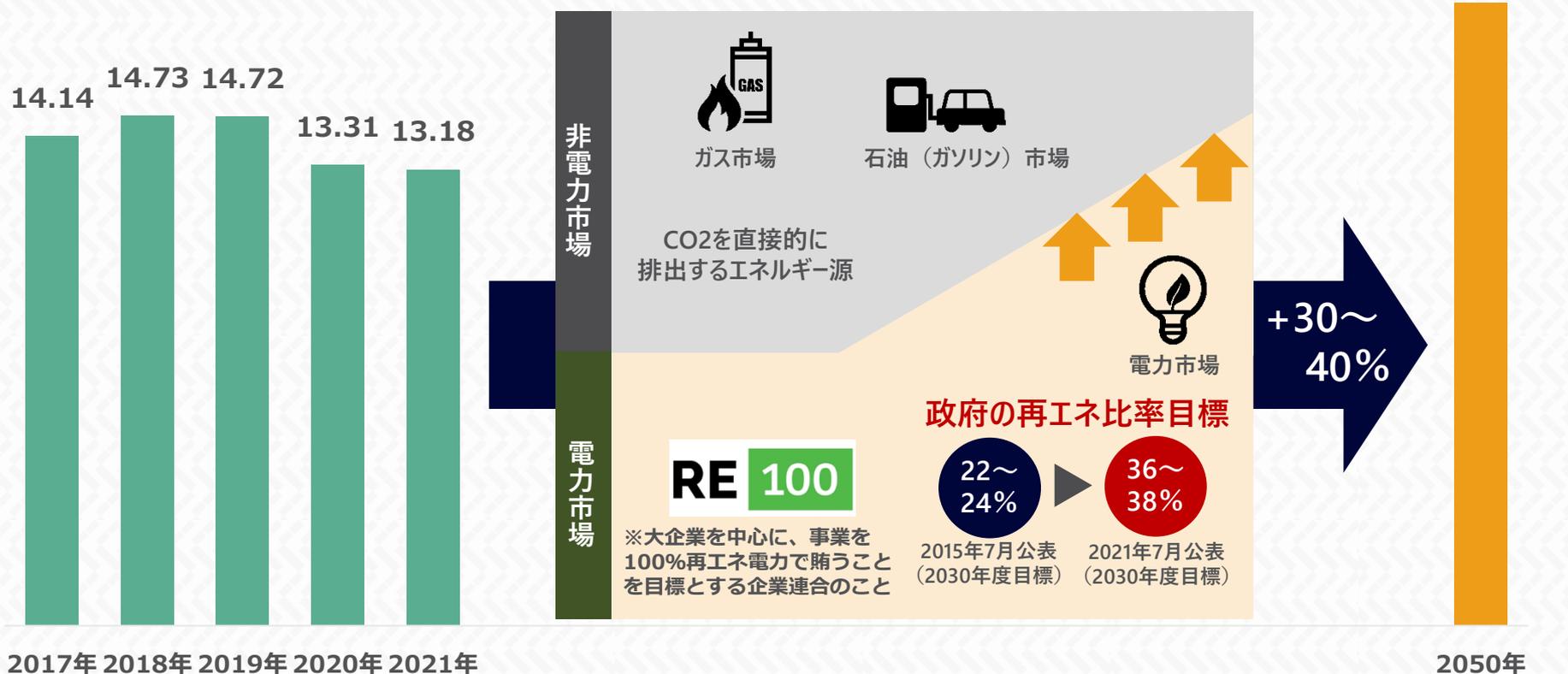
太陽電池アレイ支持架台



2050年カーボンニュートラル達成に向けて、ガス市場、石油(ガソリン)市場が電化されることが想定される。

電力市場は、現在の13兆円から2050年には最大40%程度増加※1し、18兆円規模へ拡大が見込まれる。

電力市場の推移（販売金額） 単位：兆円

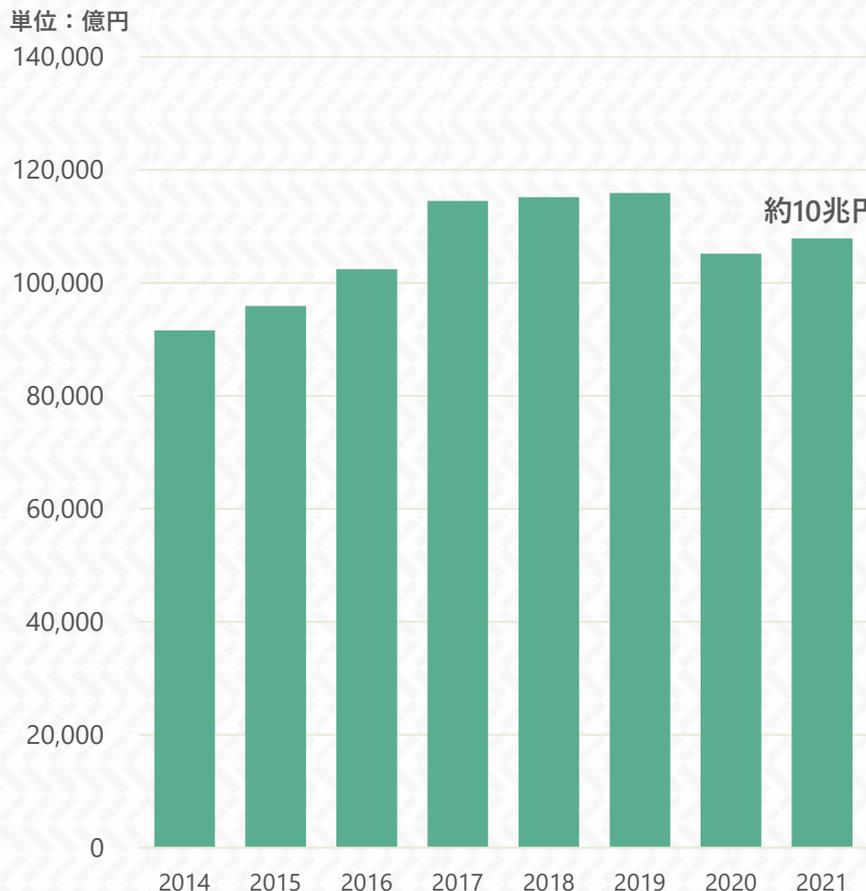


出典：電力・ガス取引監視等委員会「電力取引の状況（電力取引報結果）」より当社作成  
 ※1：経済産業省「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」（2021年6月18日）より抜粋

# 事業環境：民間非住宅建築市場の動向（金属サンドイッチパネル）

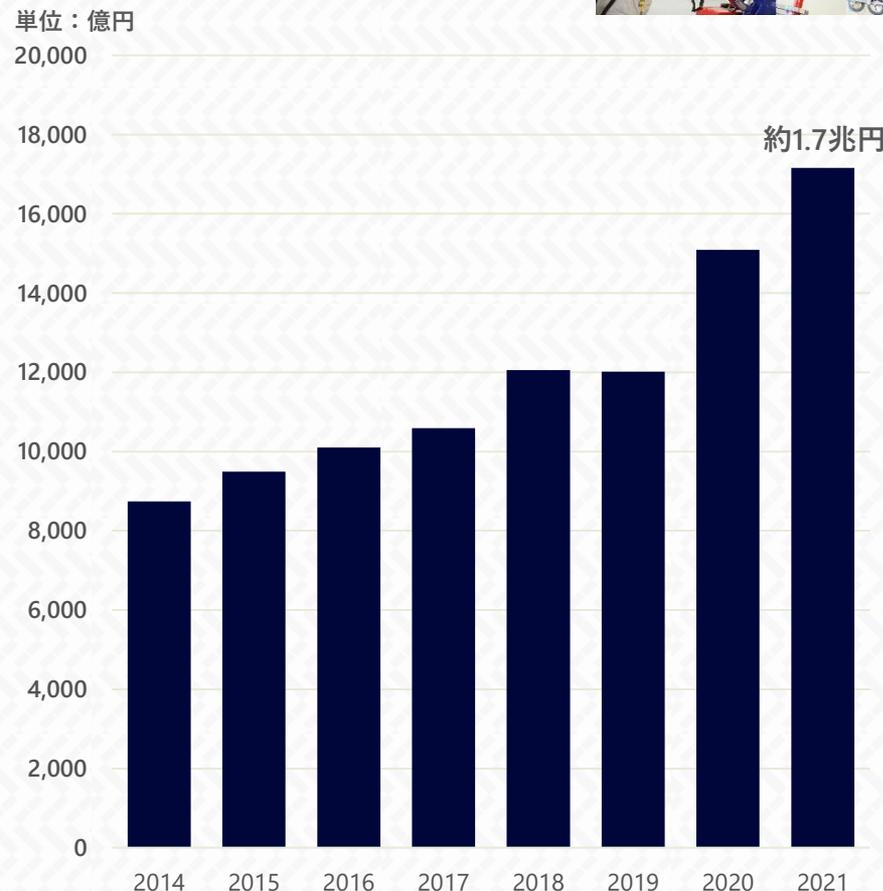
耐火・不燃断熱パネル

新型コロナウイルス感染症の影響等により、民間非住宅建築投資全体では慎重姿勢がみられるものの、物流倉庫についてはEC（電子商取引）の伸びや、老朽設備の効率化更新投資等を背景に、工事予定額が増加基調で推移している



■ 民間非住宅建築への投資金額（名目値）

出典：国土交通省「令和3年度（2021年度）建設投資見通し」より当社作成



■ 倉庫用途物件への工事予定額

出典：国土交通省「建築着工統計調査」より当社作成

## お問い合わせ先

日創プロニティ株式会社 経営企画室

TEL: 092-555-2825

<https://www.kakou-nisso.co.jp/>

[ir@kakou-nisso.co.jp](mailto:ir@kakou-nisso.co.jp)

### <ご注意事項>

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。